

第3章 直近の学校評価の概要

本市の小中学校では、毎年度、教育目標の達成度を測る学校評価を実施しています。このうち、以下の25項目による教職員の自己評価では、いずれの項目でも8割以上の教職員が「できている」（「十分できている」と「おおむねできている」の合計）と回答していますが、17番の「異校種間の交流」など、「不十分」（「不十分」と「やや不十分」の合計）という回答が1割以上ある項目もみられ、さらなる改善が求められます。

平成27年度学校評価で「不十分」と評価した割合

No.	評価内容	小学校 教職員 140名	中学校 教職員 90名
1	全国学力・学習状況調査及び埼玉県学力・学習状況調査の結果を活かした授業改善が行われている。	2.9%	10.0%
2	言語環境を整え、共通理解を図って指導が行われている。	0.7%	1.1%
3	基礎的な体力の向上に向け、計画的な指導が行われている。	1.4%	5.6%
4	外国語指導助手が教育活動に計画的に活用されている。	5.8%	3.3%
5	体験的・課題解決的な学習活動を計画的に実施されている。	1.4%	1.1%
6	教育活動全体を通し、人権感覚を養い、学習活動に人権教育の視点を位置づけた取組が行われている。	0.0%	3.3%
7	いじめ防止の体制を整え、白岡市発「いじめナシ！宣言」が推進されている。	0.8%	4.4%
8	学力向上のための課題を明確にして教育課程が工夫・実施されている。	0.7%	0.0%
9	ICTが有効に活用されている。	4.4%	8.9%
10	「目指す学校像」の実現に向け、自己申告シートに掲げた目標の達成に向けた取組が推進されている。	0.0%	3.3%
11	道徳教育の着実な実践が行われている。	1.4%	4.4%
12	各種研修等で得た知識や技能が校内で共有化され、授業の向上に役立てられている。	4.3%	8.9%
13	特別支援教育について計画的・組織的な校内支援体制の整備が行われている。	0.0%	2.2%
14	学校図書館が様々な教育活動で有効活用されている。	1.4%	11.1%
15	学校自己評価の結果や改善策を保護者や地域住民にわかりやすく示している。	1.4%	5.6%
16	学校応援団による教育活動や環境整備への支援活動が積極的に推進されている。	1.4%	10.0%
17	幼稚園、保育所、小・中学校、高等学校など、異校種間での交流が積極的に行われている。	3.6%	18.9%
18	地域や市の行事等が積極的に紹介され、子供の参加へのはたらきかけが行われている。	1.4%	10.0%
19	学校ホームページが適宜更新され、積極的な情報発信がおこなわれている。	1.4%	15.6%
20	不適応状態の児童・生徒に対し、組織的な教育相談対応が行われている。	0.7%	3.3%
21	校内の安全点検が確実に実施され、修繕等が速やかに行われている。	2.1%	7.9%
22	交通安全指導の徹底や実践的な避難訓練の実施が行われている。	0.7%	13.3%
23	個人情報の適切な管理が日常的になされている。	0.7%	0.0%
24	いじめ・非行問題への対処方針や取組が保護者や地域と共有され、理解や協力を得られている。	1.4%	8.9%
25	児童・生徒や保護者に対する情報モラルやネットトラブル防止についての情報提供が計画的に行われている。	3.6%	4.4%

